

式辞

双葉ヶ丘の移り変わる花の色に一年の巡りを思う今日、学びの園「八田中学校」で新たに生活を始める新入生を迎えました。

本日は、綾部市教育委員会教育長 小林治（こばやし おさむ）様、本校PTA会長 能勢武志（のせ たけし）様をはじめ、ご来賓の皆様並びに新入生の保護者の皆様にご臨席を賜り、ここに令和七年度入学式を挙行できますことを嬉しく思いますと共に、高いところからではありますが、厚くお礼申しあげます。

〇〇名の新入生のみなさん、八田中学校への入学、おめでどう！ 先日までは最高学年として、すべての場面で全校をリードしてきました。少しでも上達しようと挑戦した学習、地域の方と一緒に下級生の安全を気にしながら歩いた登下校・学年の個性を發揮しながら工夫した行事、そして毎日が生活しやすいようにと取り組んだ委員会活動など、小学校のホームページをのぞくと、みなさんの歩んできた足跡が見られました。東八田小学校には、調べ学習用図書を中心とした「いきいき図書館」と、読み物図書を中心とした「夢の森図書館」という2つの図書室があると思われています。八田中でも読書活動に力をいれていますので楽しみにしててください。西八田小学校では、「西八田イングリッシュチャレンジ」など英語の学習に力を入れている様子が書かれ

ていました。八田中でも海外の方との交流があります。両小学校での経験を土台として、今度は中学一年生として一つになり、自分の力を最大限伸ばしていきたいと思います。

八田中はこれまでの卒業生、そして在校生の努力で年々前進を続けています。令和7年度の生徒会スローガンは「流星群く今、自分も光るときく」です。これには、まず、一人一人が自分の良さを発揮する。そして八田中という流星群として伝統を創り輝いていこうという願いが込められています。みなさんは今日から八田中学生です。一日も早く中学校生活に慣れて学習や行事、部活動などにおいて充実した毎日を送れるようになってください。

さて、新入生のみなさん、幼小中一貫教育を進めている八田ブロックでは、幼稚園から中学校までの「N年間」で「未来を切り拓く人」になるための土台づくりをしています。今世界は、昔に比べてとても便利になりましたが、多くの問題を抱えています。その問題は誰か一人で解決できるようなものではなく、世界中の人々が知恵を出し合い協力しあって、やっとなで前進するようなものばかりです。今後社会へ出て、誰かのために力を発揮できる人になるためにも、しっかりと中学校で学んでください。学習・人との交流・地域との協働活動、そして心と体、これらに関するこの基礎基本をたたき込んでください。

ここで、上手に中学校生活を送るためのヒントを

話します。毎年話していただきますので、2年生、3年生の皆さんは今一度振り返ってください。

「失敗」や「うまくできない」ということについてです。

人は誰でも失敗をします。君たちも失敗をしてきたでしょうし、私もそうでした。失敗すると恥ずかしい気持ちになってしまいますね。また、多くの人ができるのに自分はうまくできない。できない自分を見せるのは本当に勇気がいります。でも、「失敗」や「うまくできない」という不安に負け、挑戦しないタイプの人になるのはよくありません。「失敗」や「うまくできない」というのは物事の結果です。未来を切り拓く人になろうとしている君たちにとって大切なことは、結果ではなく、それに向かってどのように取り組むかということです。失敗は成功のもとと言うように、「失敗はダメなのではありません」。その方法ではうまくいかないということなのです。

もう一つ今の話とセットで大切なことは、「失敗したり、うまくできなくても大丈夫だよ!」と言ってくれる仲間と一緒に生活している安心感です。周囲に困っている人、うまくいっていない人がいないか目を向けて生活ができる人になってください。

最後に、一昨日の始業式で上級生に話した物理学者湯川秀樹さんの言葉を紹介します。「一日生きることは一歩進むことでありたい。」この言葉は研究者で

ある湯川さんが、日々失敗の連続の中で、「うまくいかないことが多いが、それでも今日こそはとあきらめずに続ける。そういう生き方をしたい。」ということだと思えます。

新入生のみなさん、この後、退場して体育館の横を通るとき、黄色い花が咲いているのを見てくださいます。「山茱萸（サンシュユ）」という名前の木です。この花の花言葉も、あきらめず長く続けること、ぐっと踏ん張り乗り越えることです。今日、希望と共に多少の不安があったかもしれませんが、大丈夫！一日生きることは一歩進むことでありたい。上級生、そして私たち教職員と一緒に進んで行きます。

後になりましたが保護者の皆様に一言お祝いを申しあげます。

「本日はお子様のご入学おめでとうございます。心からお慶び申しあげます。」

今日から三年間、私たち教職員は、大切なお子様の中学校教育に責任をもってあたらせて頂きます。思春期の子育ては保護者として踏ん張りどころであり、一方で子どもにとっては避けて通れない成長のチャンスです。ご家庭と学校がしっかりと連携して、共通の理解の元でお子さまの教育に当たる事ができますよう、よろしくお願い申しあげます。

また、地域の皆様方におかれましても、地域と共にある学校づくりとして、子どもたちの活動が地域

の皆様と更に連動しますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

新入生の皆さん一人一人が、これからの三年間の
中学校生活で大きく成長していくことを期待して式
辞と致します。

令和七年四月十日

綾部市立八田中学校 校長 小林 孝伊